

政権交代と教育法

新連立政権が発足して6カ月。新政権の教育政策と教育改革立法プランをめぐっては、それが、国民の福祉国家的教育要求に応えるものとなるのか、それとも、よりエレガントに新自由主義教育改革を進めることになるのかが論点となってきている。学会創立40周年を記念して、この論点を検討する公開シンポを開催することとした。政権交代のもとで教育基本法はどうなるのか？教育委員会を評価機関化する構想はどのように評価すべきなのか？青年の貧困問題は解決するのか？そして、学校の条件整備は進むのか？このシンポは、運動・政治関係者にも開かれるので、激論が交わされることが期待されている。

日時: 2010年5月30日(日)

午後1時開場 午後1時30分～午後4時30分

会場: 明治大学リビティタワー 1階ホール

(JR・地下鉄お茶の水駅、地下鉄新お茶の水駅徒歩5分)

資料代: 500円

報告

市川須美子 「新政権と教育基本法」

(獨協大学教授)

中嶋哲彦 「新政権と地方教育行政制度」

(名古屋大学教授)

青砥 恭 「新政権と“若者の貧困”」

(全国高校教育法研究会代表)

船木正文 「新政権と教育条件整備」

(大東文化大学教授)



司会

★内野正幸 (中央大学)

★世取山洋介 (新潟大学)